

このコーナーでは、市工業会・市商工会工業部会会員から応募のあった企業を紹介しています。



第10回 ニシハラ理工(株)

住所 狭山ヶ原108

☎2934・6116

設立 昭和26年8月

[http://www.](http://www.nishihararikoh.co.jp/)

[nishihararikoh.co.jp/](http://www.nishihararikoh.co.jp/)

めっきに打ち込んで64年

ニシハラ理工は長年にわたって培ってきた電子基盤のめっき技術をベースに、主に半導体や電子部品を中心としたエレクトロニクス産業向けのめっき加工を行っている会社です。製品を直接目にする機会は少ないですが、身の回りにある電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話等）や自動車などさまざまな機器に組み込まれています。製品としては、チップantalコンデンサを月産5億個、コネクタを月産8億個を生産していますが、特に携帯電話内蔵電池の端子部分のめっきでは世界シェア90%を達成しています。



顧客満足を追及する技術サポート

製品を生産するだけではなく、独自ノウハウによって開発された生産装置

の設計から製作までを手がけ、製品の企画段階からの参画、生産工程管理までを独自の「プロセス・サポート・エンジニアリング」システムとして幅広いソリューションを提案しています。技術力、管理能力を高めて、高い信頼性を要求される自動車分野への販路拡大と、ますます部品の小型化が進む民生分野におけるシェア拡大を目指しています。試作から量産まで一貫して対応することによって、顧客の求めている価値を理解し、表面処理專業メーカーとして今まで培った技術を發揮できるしくみを構築します。

新たな技術に日々挑戦

ニシハラ理工のめっき加工の技術には、酸化（腐食）しやすい金属を酸化しにくい金属で被膜する技術や、部分的に欲しいめっきには治具やレジストを使用するなどの工法でめっきする技術があります。さらに、近年では難めっき材と呼ばれるアルミへのめっき技術を開発しています。これらの技術は、特に環境に配慮した製品向けに活用されています。このように、ある金属自身が持つ特性に別の金属の被膜を付けることによって、防錆性、耐摩耗性、電気伝導性など別の特性を持たせることが可能となり、さまざまな分野の産業を支える製品となります。これからも、ニシハラ理工は日々革新していく技術の一端を担う会社として、技術開発にまい進していきます。